

父の約束なる聖霊降臨

(ルカの福音書24・44〜49)

一、主イエスが語られたこと

ルカの福音書24章には、御子イエス・キリストが殺されたにもかかわらず、父なる神によって復活させられた、週の初めの日の、朝から晩までの一日の出来事が書かれています。正確に申しますと、二日間です。ユダヤの人々の一日は日没から始まったからです。

主イエスは弟子たちが集まっている真ん中に現れられ、語られました。44節です。へきて、そこでイエスは言われた。「わたしがまだあなたがたといっしょにいたころ、あなたがたに話したことばはこうです。わたしについてモーセの律法と預言者と詩篇とに書いてあることは、必ず全部成就するということでした。」と。へモーセの律法と預言者と詩篇とは何でしょうか。旧約聖書です。その旧約聖書がへわたしについて書いてある、というのが主イエス・キリストのおっしゃった言葉です。しかも、44節前半で主イエスは、へ「わたしがまだあなたがたといっしょにいたころ、あなたがたに話したことばはこうです」と語られています。すでに弟子たちと過ごされた1年間、ないしは2年か3年間、語られてきたということです。

二、主イエスを信じるとは

ですが、主イエスがそのように語られても、弟子たちにはなかなか分からなかったようです。ちなみに、聖霊が働いて、人がイエスを神の御子と知るとは、どういうことなのでしょう。神は、聖霊は、人の思いをねじ曲げて信じさせることはなさいません。ならば、聖霊が働いて人がイエスを救い主として信じるとはどういうことなのでしょう。それは、その人が自分の意思で信じることです。どんなに、信仰に反対をしていた人でも、その人の心に聖霊が触れられますと素直な気持ちになり、自身自身の決断で信じるということが起きてまいります。もしも「本人が「無理矢理に信じさせられた」と思っているなら、それは神がよしとされることではなく、聖霊の働きでもないと思われま

三、心を開くとは

なぜこのようなことをお語りしたかと申しますと、45節の記述があるからです。へそこで、イエスは、聖書を悟らせるために彼らの心を開いて、こう言われた。へ「心を開いて」とはどういう意味でしょうか。へ「心(フウス)」と訳された言葉は、「理性」とか「理解」の意味です。主イエスは、彼らの理性を開かれたのです。理性が開かれるとは、ただ知識として知っているのではない、「分か

った」「よく分かった」として悟ることです。聖句の前半にへイエスは、聖書を悟らせるために」とありますが、まさしくそのことです。「聖書の中心はイエス・キリストの善き知らせであると受け止めたらいいのだな」ではなく、閃きのような体験をして、「たしかに聖書は

イエス・キリストの救いを語っている」と知ることです。神の働きは、人を無理矢理にねじ伏せることはありません。その人が、自分で悟ることができるように働かれます。現に、復活の主イエスはへ聖書を悟らせるために彼らの心を開いて、こう言われた」と書かれています。ですが、主イエスが語られた時点においては、まだ悟っていなかったのです。それから五十日後のペンテコステの日に、聖霊が降られることによって、弟子たちはイエスが神の子救い主キリストであることを知りました。弟子たちは、黙っていることができないほど、内側が燃やされました。そうであっても、ペンテコステの日に、すなわち聖霊降臨の日に、キリストの善き知らせの真理がすべて分かったかという、そうでもないのです。「ルカの福音書」の続編である「使徒の働き」の10章に異邦人コルネリオと家の者たちの救われたことが書かれています。それまで、弟子たちはユダヤ人だけに伝道していました。異邦人と言われるユダヤ人以外の人々に伝道するという思いを持っていなか

ったからです。異邦人コルネリオの救いに関しては、神御自身が道を開かれたとしか思えない出来事から始まりました。へテロは、神に導かれることによつて、異邦人コルネリオと家の者たちがイエス・キリストを信じるという出来事に係わるようになったというのが、「使徒の働き」10章の語るところです。それが、どんなに重大で、ショッキングな出来事であったかについては、15章を見ると良く分かります。そういうわけで、元に戻りますが、へイエスは、聖書を悟らせるために彼らの心を開いて」とありますが、いつときに全部が分かつてしまふということはないと考えます。むしろ、継続は力でありまして、イエス・キリストは徐々に分かかってまいります。「徐々に」と申しましたが、だからに右肩上がりに少しずつ分かるというよりも、ある時は「まったく成長がない」と思われる時期もあれば、何十年も疑問に思ってきたことが、突然解決されることが起きたりします。成長は決してなだらかではありません。ですが、主イエスにつながっていれば、ぶどうの木である主イエスから栄養分をいただいて、実を結ぶようになります。聖霊はすでに降られました。聖霊によつて私たちは、信者も求道者も悟る霊が注がれ、老いも若きも神を知ることができるようになります。